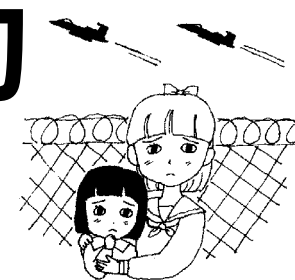


横田 基地

戦争司令基地への変質に市民が力を を合わせ反対の声をあげよう



全国ですすめられている「米軍再編」。政府などはその目的を「沖縄の基地負担軽減をはかるため」としています。しかし実際には、米軍が日本全土を舞台にして、これまで以上に軍事作戦を強めていくこと、そして、自衛隊が米軍の軍事作戦に協力させられていくことが本当の狙いであると私たちは考えています。

今回は、昨年12月議会で鈴木議員がおこなった質疑の概要と、今月2日羽村で開催された「横田基地を考えるシンポジウム」についてお伝えします。



横田基地を固定化し、危険な基地へと変質させる「米軍再編」に反対を

鈴木議員 12月議会の質問から

(鈴木) 羽村市でも、市長を先頭に、横田基地を固定化し危険な基地へと変質をとげる米軍再編に対して、きっぱりと反対の態度を貫いていくこと、そして、基地被害の軽減、基地返還にむけた努力をさらに強めることを求める立場から質問いたします。

自衛隊が横田基地へやってくる

(鈴木) 「航空自衛隊航空総隊司令部」移駐について、施設の規模、総事業費、移駐後の基地運用などはどうなっていると認識しているか。

(市長) 工事は平成20年4月以降に着手され、地上3階、地下2階、庁舎部分と機械棟を併せ、建築面積約4千600平方メートルの建物を、基地内の福生市部分に建設するというのを聞いております。

移駐してくる部隊の現在の隊員数は、約600名、また、司令部の本体工事費が約150億円と聞いております。

テロとのたたかいを任務にした「ケニー司令部ジャパン」が横田に(鈴木) 今年1月、ケニー司令部ジャパンが横田基地におかれたと言われているが、この部隊の人数や役割は何であると認識しているか。

(市長) 米空軍は、横田飛行場において第13空軍・第1分遣隊を立ち上げました。

この第13空軍の司令部はハワイに所在し、分遣隊の人員は全て既存の第5空軍の人員をもって充てられます。この組織変更による在日米軍の人員の増加は予定されておらず、また、住宅や施設、地域社会に対する重要な影響はないと聞いています。

また、米軍からのプレスリリースによれば、この分遣隊は、航空自衛隊、横田基地内の第5空軍、ハワイにある第613航空宇宙運用センターと調整し、日本における航空運用の企画計画、調整及び執行を行うこととされているとのことであります。

(裏面に質問の続きがあります)

2. 2 横田基地を考えるシンポジウム

in 羽村
コミセン

230名の参加で会場いっぱい熱気むんむん



2日に羽村コミュニティーセンターでおこなわれた横田基地を考えるシンポジウムには、会場があふれる230人が参加しました。

日本共産党の小泉親司中央委員会基地対策委員会責任者、松村友昭都議、松山清前福生市議、横田基地訴訟の盛岡暉道弁護士の4氏がパネリストとして発言しました。

小泉氏は、首都に広大な米軍基地がある異常を指摘。日米共同司令部設置など横田基地での米軍再編が、日本に広大な地域での軍事分担を押し付け、アメリカのためのミサイル防衛の中心になるものだと批判しました。